

財団法人茨城県企業公社

[法人の概要]

平成17年7月1日現在

代表者名	理事長 坂入 健(非常勤)	県所管部課	企業局総務課	
所在地	水戸市笠原町978-25	電話番号	029-301-1133	
ホームページURL	http://www.mizudasu.or.jp	E-mailアドレス	kigyokousha@mizudasu.or.jp	
資本金(基本財産)	40,000 千円	設立年月日	平成2年6月29日	
主な出資者	出資順位	出資者名	出資額	出資比率
	1	茨城県企業局	30,000 千円	75.0 %
	2	財団法人茨城県企業公社	10,000 千円	25.0 %
	3		千円	0.0 %
	4		千円	0.0 %
	5		千円	0.0 %
その他	団体		千円	0.0 %
設立的	水道の普及促進や浄水場の運転管理業務を通して、県行政及び公営企業の円滑な推進を支援し、県民の多様かつ高度なニーズに対応して県民福祉の向上に寄与することを目的とする。			

[事業の概要]

事業名	平成17年度事業費	内容
事業1 公益事業	3,238 千円	「県民まつり」等のイベントに参加し、水道水の安全性をPRすることにより、水道の普及を促すとともに、水道水源の浄化や水資源の大切さについて啓発している。 市町村の水道事業に従事する職員を対象とした研修会を実施し、担当職員の資質の向上を図っている。
事業2 受託事業	1,126,292 千円	県企業局の所管する浄水場の運転管理業務や水質検査業務を行い、水道水の安定供給に寄与している。 つくばヘリポートの管理や格納庫の管理も行っている。
事業3 収益事業	50,862 千円	県企業局が所管する水道用管路の維持管理を行い、水道水の安定供給に寄与している。 浄水発生土資源化設備の運転管理と製品販売を行い、資源のリサイクルに対する県民の意識の高揚を図っている。 市町村の浄水場等の運転管理を行い、水道事業の効率化に寄与している。

[組織]

7月1日現在の人数	平成15年			平成16年			平成17年			
	県派遣	県OB		県派遣	県OB		県派遣	県OB		
役員	常勤理事	1	0	1	1	0	1	1	0	1
	非常勤理事	7	0	0	7	0	0	8	0	0
	常勤監事	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	非常勤監事	2	0	0	2	0	0	2	0	0
	計	10	0	1	10	0	1	11	0	1
職員	管理職	6	5	1	5	5	0	5	5	0
	一般職	54	0	0	55	0	1	58	0	4
	臨時職員	2	0	0	2	0	0	2	0	0
	嘱託職員	144	0	1	148	0	1	146	0	0
	計	206	5	2	210	5	2	211	5	4
当期常勤職員の年齢構成	20代以下	30代	40代	50代以上	合計	平均年齢	平均勤続年数			
	24	28	2	9	63	34歳 1月	9年 1月			

[収支の状況]

財団法人茨城県企業公社

(単位:千円)

区 分	平成14年度	平成15年度	平成16年度	
収 支 の 状 況	収入合計	1,208,300	1,169,959	1,211,704
	事業収入	1,197,865	1,160,763	1,146,460
	事業外収入	10,435	9,196	65,244
	支出合計	1,206,653	1,167,937	1,208,402
	事業支出	1,013,864	983,289	977,385
	事業外支出	192,789	184,648	231,017
	うち管理費	31,506	29,418	28,210
	うち人件費	1,067,340	1,037,451	1,024,621
	当期収支差額	1,647	2,022	3,302
	正味財産増加額	29,961	32,020	128,497
	正味財産減少額	32,308	33,797	128,497
	当期正味財産増減額	-700	245	3,302
	前期繰越正味財産	99,493	98,793	99,038
	期末正味財産	98,793	99,038	102,340
財 産 の 状 況	資産	267,991	277,877	290,863
	流動資産	111,528	110,195	106,418
	固定資産	156,463	167,682	184,445
	負債	169,198	178,839	188,523
	流動負債	73,086	69,731	62,652
	うち短期借入金	0	0	0
	固定負債	96,112	109,108	125,871
	うち長期借入金	0	0	0
	正味財産	98,793	99,038	102,340

[財的関与の状況]

(単位:千円)

区 分	平成14年度	平成15年度	平成16年度	
財 的 関 与 状 況	補助金	0	0	0
	委託金	1,133,596	1,118,788	1,105,672
	貸付金			
	計	1,133,596	1,118,788	1,105,672
	財政的関与の割合(%)	94%	96%	91%
	損失補償・債務保証			

[平成16年度の補助金等の目的・内容等]

支 出 項 目	目 的 ・ 内 容 ・ 効 果
補助金	
委託金	「浄水場の運転管理業務等委託」、「管路保守管理業務委託」及び「資源化設備運転管理業務委託」を受け、効率的な業務の推進に寄与している。
貸付金	

[評点集計]

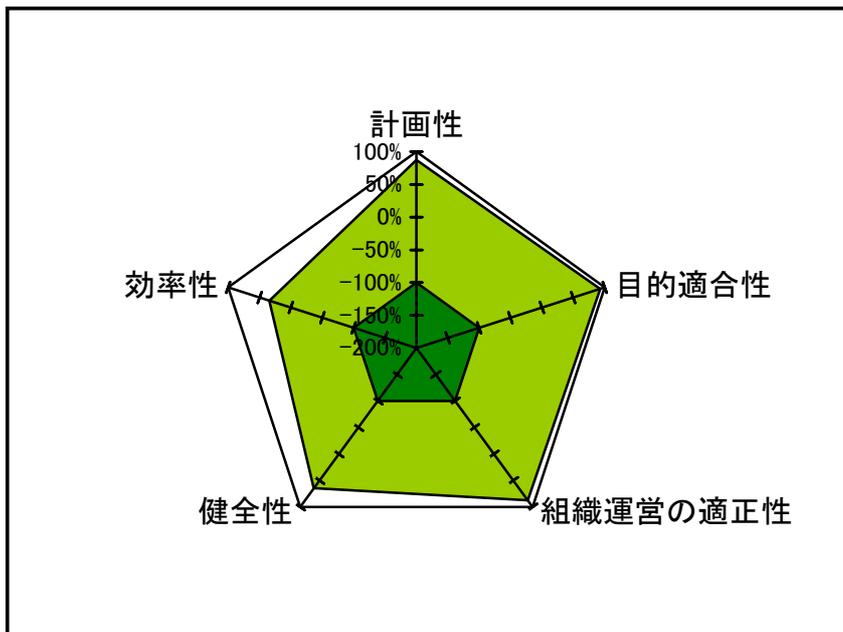
評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
計画性	4	7	8	87.5%
目的適合性	5	13	14	92.9%
組織運営の適正性	4	7	8	87.5%
健全性	11	26	40	65.0%
効率性	9	11	32	34.4%
合計	33	64	102	62.7%

公益法人会計用

財団法人茨城県企業公社

警戒指標

--



《評価の視点》

計画性	経営目的、経営方針が各種計画に反映され、計画・実行・見直しが行われているか
目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか
組織運営の適正性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か
健全性	法人の財務体質が健全であるか、また、各事業の採算性がとれているか
効率性	組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているか

各評価項目については、「出資法人等経営評価指標及び評価基準等」を参照

[法人の自己評価(経営概況, 経営上の課題, 対策等)]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
新たな財源の確保に努めると共に、なお一層の経営の効率化を目指す。県企業局の中期経営計画との整合性を保ちながら、経営体質の強化を図っていく。	県企業局の所管する浄水場の運転管理を円滑に行うとともに、水道の普及促進や水質浄化啓発活動等も行っており、設立目的に沿った事業を実施している。安全で安心な水道水の安定供給に寄与していく。	職員の年齢構成に偏りがみられるが、業務は円滑に実施されている。	実費弁償方式を行っているため、利益率は上がらない。しかし借入金もなく健全な経営である。	職員のコスト意識を高めると共に、経費節減に努めていく。
今後の事業展開の方向	現在行っている公益事業を積極的に展開しながら、経費節減に努め、経営基盤の安定化を図る。また、県企業局と一体となって水道水の安定供給に努め、更なる信用を得られるように努力する。			

[法人を担当する課の意見]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
年次計画及び中長期計画が策定され、計画的に事業が実施されており、概ね計画通りに推移している。	水道の普及促進事業や企業局浄水場の運転管理等を安定的に実施しており、県行政及び公営企業の円滑な推進を支援するという設立目的に沿った事業が行われている。	適正な内部管理体制が図られているほか、財務等の情報公開にも積極的に取り組んでおり、運営の透明性が確保されている。	事業の大部分が実費精算方式のため剰余金が少なく、採算性は高くないが、経営は安定的に推移しており、借入金もないため、財務体質は健全である。	各種経費の削減等による経営の効率化に努めている。
第三次行財政改革大綱に係る取組状況	推進事項		取組み状況	
	県職員の団体役員兼任の縮減		公社監事は従来2名とも県職員兼任であったが、平成16年4月から1名を外部から招聘し、兼任の縮減を図った。	
法人担当課の意見	<p>企業公社はこれまで水道の普及促進や水質浄化の啓発に積極的に取り組んでおり、本県の水道普及率の向上に寄与してきた。また、企業局浄水場の運転管理を円滑にサポートすることにより、企業局と一体となって水道水の安定供給に努め、県民福祉の向上に寄与してきた。</p> <p>浄水場の運転管理業務は、一部の小規模自治体において水道法による第三者委託が開始されており、公社において将来的に民間事業者との競争も予想される。</p> <p>現在公社では、技術力の向上や経営の効率化等により、民間事業者との競争に負けない経営体制を確立するよう努めているところであり、所管課においても経営体制の確立に向け引き続き指導していく。</p>			

[総合評価]

取組みを強化すべき視点	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">計画性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">目的適合性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">組織運営の適正性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">健全性</div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">効率性</div> </div>
総合的所見等	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">概ね良好</div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">改善の余地がある</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">緊急の改善措置が必要</div> </div> <p>当法人は水道の普及促進事業や水質浄化啓発事業を行うとともに、県企業局が所管する浄水場の運転管理業務等を受託し、公営企業の円滑な運営に寄与すべく設立されたものであり、その役割は、発注者である県企業局と連携して機動的かつ効率的に業務を運営することにある。</p> <p>当法人は、こうした役割を十分認識するとともに、一部の自治体では浄水場管理を民間企業に委託している事例も見られることから、コスト面でも寄与できるよう引き続き自主的な経営改善に努めるべきである。</p>
総合的所見等に係る対応	<p>当法人は、企業局浄水場の運転管理業務の長期にわたる安定的な実績があるが、水道法の改正等により、今後民間事業者との競争も予想されることから、技術力の向上や業務の効率化等により経営体質の強化を指導しているところである。</p> <p>現在、当法人では各種資格の取得等による技術力の向上に努め、安全な水道水の安定供給に寄与しているほか、各種経費の見直し等による経営の効率化によりコスト面でも寄与する等、経営体質の強化に取り組んでおり、着実な成果を上げているところである。今後もより一層の信頼性の確保に向け引き続き指導していく。</p>

＜ 財団法人茨城県企業公社 から県民のみなさまへ＞

当公社は、県行政を補完し、公営企業の円滑な推進を支援することを目的として、平成2年に設立いたしました。以来、健全経営に徹し、浄水場の運転管理業務を中心に着実に実績を積み重ね水道水の安定供給に貢献して参りました。

今年度、社会経済情勢の変化に的確に対応し、効率的かつ計画的な業務の推進を図るとともに健全経営に努め、安定した経営基盤を確立していくため、17年度から21年度を期間とする第2次中期計画を策定いたしました。

今後とも、公益法人として、水道の普及促進及び水質浄化啓発などの設立目的に沿った活動を積極的に行って参りますとともに、これまで培ってきた運転管理技術や水質分析技術に磨きをかけ、安全・確実な業務で信頼を深め、県企業局と一体となって水道水の安定供給に努めて参ります。

県民の皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。

平成18年2月 理事長 坂入 健